

令和 2 年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業（撮影所等における映画関連の非フィルム資料）について

(1) 事業目的

歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な映画関係資料が散逸・消失することのないよう、分野全体のアーカイブの構築・運営や共同利用の促進等を行うことを目的とする。

(2) 委託者：文化庁 受託事業者：NPO 法人映像産業振興機構（VIPO）

(3) 事業内容

ア 実態調査

関東地区における映画の撮影所等に保管されているシナリオ、ポスター等の映画関連非フィルム資料（以下、非フィルム資料）について、東京調布地区の映画撮影所や非フィルム資料を所蔵する施設等を対象に、データベースの有無も含め所在情報の収集・調査を行う。

なお、平成 30 年度及び令和元年度は、京都地区を中心に調査が行われた。

イ 「非フィルム資料所在地情報検索システム（JFROL）」構築および「全国映画資料館録 2020」の作成

ウ 利活用方法の検討および試験的展示会の実施

(4) 図書館の協力内容及び結果概要

図書館映画資料担当は、主に(3)アの事業及び、「全国映画資料アーカイブサミット 2021」（開催日：2021 年 3 月 2 日）に協力・参加した。実態調査は、事前調査含め 4 回の調査が行われ、結果として事業報告書 16～19 ページの資料詳細にある、日本映画史の観点から見ても貴重な資料があることが判明した。なお、報告書にある 3 人は、調布における映画史にも深い関わりのある映画人である。

(5) 令和 3 年度の調査

令和 3 年 7 月から令和 4 年 3 月末までの期間に、複数回実態調査が入る予定